

事例 介護用品リサイクル

中心会（神奈川県）

〒243-0414 神奈川県海老名市杉久保 2271-7 えびな南高齢者施設内 TEL 046-237-2052

活動の概要

不要となった介護用品を、必要とする者に仲介する。施設は、品物の公表、輸送を担当する。引取りなどは基本的に行わず、在庫を持つことはしない。

- ・ 出品を受ける。
- ・ 出品者宅へ、品物の確認、写真撮影などのために訪問する。
- ・ 広報誌、ホームページに掲載する。
- ・ 注文が出た場合、出品者宅へ品物を受け取りに行き、注文者宅まで運搬する。
- ・ 出品にない注文についても、広報誌、ホームページに掲載、出品者を募る。

法人の概要

当法人は、神奈川県のほぼ中央にある海老名市と相模原市で老人ホームと児童養護施設を運営している社会福祉法人である。児童をはじめ、高齢者、障害者、地域の皆様に根付いた福祉の向上と充実を目指している。

中心会の活動は昭和 17 年から始まり、昭和 28 年に社会福祉法人の認可を受けた。現在では、児童養護施設を相模原市内で、老人ホームを海老名市内の 3 つの拠点で運営しています。高齢福祉サービスでは特別養護老人ホームをはじめ、短期入所事業、デイサービス、ホームヘルプサービス、訪問入浴等のほか、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターを運営している。

- 経営施設数…5
- 法人全体の年間事業収入…1,552,860 千円
- 主な経営施設
 - 特別養護老人ホーム…3
 - 養護老人ホーム…1
 - 児童養護施設…1

実施施設の概要

- 施設名…わかばケアセンター
- 施設種別…通所（高齢・障害）（定員各 30 名）

■ 施設の運営方針

- (1) 利用者の真のニーズに基づいた事業を実施する
- (2) 法に基づいたサービスの提供を行う
- (3) 市民に対してのサービスを充実させる

活動の内容

- 活動対象者…所在市 市民
- 活動の頻度…需給が成立した場合随時
- 年間の利用者…6名
- 活動開始年…2006年

■ 活動開始の背景（取り組みの経緯）

- ・ 当法人で、介護保険外サービスについての検討を行い、当アイデアが採用された。
 - ・ 4 月より、手順書制定、広報誌掲載、各支援事業所に宣伝
 - ・ 6 月より、ホームページを立ち上げ、注目の速報の掲載を行う
- 活動を開始後 2 ヶ月を経過したところから、問合せがあるようになり、現在 6 名の

方が利用された。

■人材・賃金面等での工夫、苦慮

- ・人員、車輛については、回収を送迎時間内にすることで対応予定。
- ・ホームページは施設ホームページサーバー内に新設。
- ・ケアマネジャーに対する営業活動と併せて宣伝活動を開始。
- ・従来の施設広報誌と同種の資材、人材、手順にて情報誌作成。

以上のように、極力既存の業務に支障の出ない方法を取っている。

■利用者の声、地域の反応

ケアマネジャーからは「面白い企画である」との反応がある。

現時点で、品物を希望する注文と、出品希望が数件ある。

車椅子を希望し受け取った利用者から「欲しかった車椅子がすぐに手に入り、大変助かった」との声があった。

活動の成果、地域の影響、今後の課題

- ・提供の申し出や品物の希望はあるが、時間的な要望（「明日片付けるので今日中に取りに来て欲しい」「そんなにすぐに持って来られるのも困る」等）が合わず、成立しない例があった。
- ・当事業を望む潜在的な利用者は多いと考える。

そのような利用者に「便利だ」「得だ」と思わせるような、受け渡しのシステムや、広報手段を、継続的に改善していく。

主な経費や財源の内訳（年間当たり）

| 主な経費 | 概算額 |
|------|-----|
| | |
| | |
| | |
| 合計 | 0円 |

| 主な財源 | 概算額 |
|---|-----|
| ・法人本部負担額 | |
| ・施設負担額 | |
| ・利用者負担額（利用料） | |
| ・補助金収入 （補助金事業名： ） | |
| ・その他の収入 | |
| 合計 | 0円 |